

えひめの伝統工芸活性化支援事業

－ えひめの伝統工芸活性化支援事業（R7）－

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター

ライフスタイルの変化などにより、陶磁器の国内需要が縮小する中、約250年の歴史を有する砥部焼を今後も愛媛を代表する伝統産業として守り育てていくため、砥部焼の価値を高め、差別化を図る取組みを行いました。

1. 手作りの価値を守るための技術力向上支援

贈る人も貰った人も心躍るギフトラッピング講座の開催

約250年の歴史を有する砥部焼を今後も愛媛を代表する伝統産業として守り育てていくため、砥部焼窯元の魅せる技術向上を目的にラッピングに関するワークショップを実施しました。

お茶碗包み

マグカップ包み

ボックス包み

ラッピングの完成品

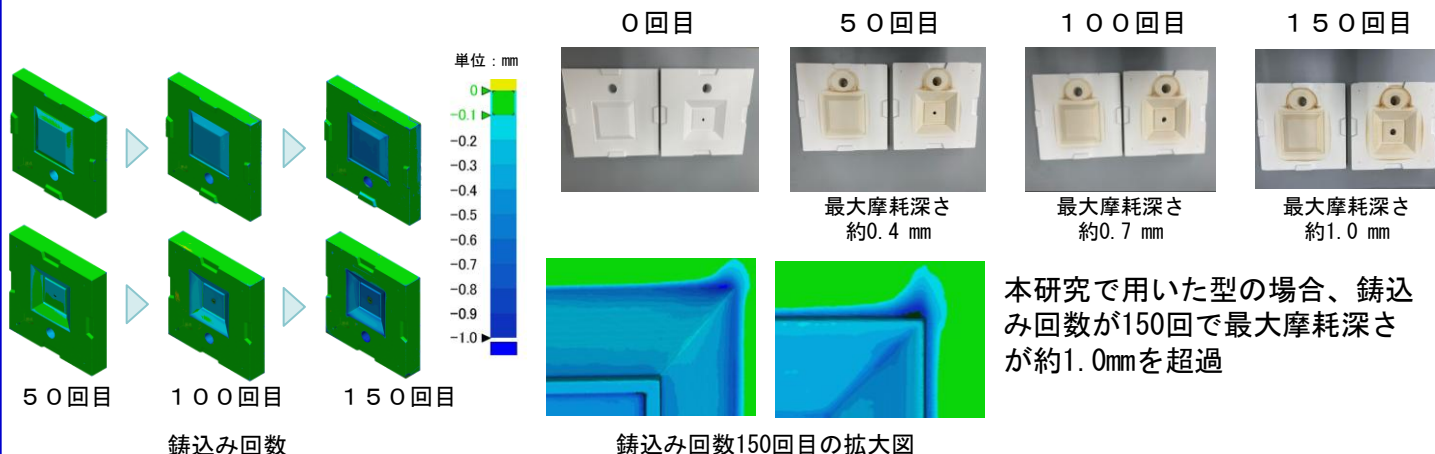


お茶碗を素早くおしゃれに包む方法、紙以外の素材を使い規定外の形を包む方法など、すぐに実践できるラッピング手法を学びました。

2. 生産の効率化に向けた体制構築

石膏型適正使用条件の確立に向けた研究

鑄込み用砥部焼坏土を用いた場合の石膏型の適正使用条件を確立するため、鑄込み回数の増加に伴う石膏型の削れ具合について、3Dスキャナーを用い実測を行いました。



本事業で取組んだ内容を産地内で横展開し、業界の底上げを行っていくことで、地域の伝統産業の更なる振興を図り、地域経済の活性化に寄与することが期待されます。

本事業は、令和7年度えひめの伝統工芸活性化支援事業により実施しました。